

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	レ・ベンガール町田ル・シアター	階数	地下1F、地上14F
建設地	神奈川県相模原市上鶴間本町3丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	444 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2013年6月	評価の実施日	2012年2月15日
敷地面積	1,987 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社3Mプランニング
建築面積	818 m <sup>2</sup>	確認日	2012年2月15日
延床面積	9,428 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社3Mプランニング



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算: 建設(30%), 修繕・更新・解体(60%), 運用(80%), オンサイト(100%), オフサイト(100%超)

建築物の取組み: 71% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.2	Q2のスコア = 3.2	Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.0	LR2のスコア = 2.9	LR3のスコア = 3.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電システム(設置容量28.08kW)を採用している。・敷地内にて積極的に緑化を行っている。</li> <li>ハロン消化剤使用しない。・照明設備・自動点滅、タイムスケジュール、蛍光灯使用。</li> <li>奇抜なデザインを避けている。・敷地周辺には見通しの良いフェスを設けている。</li> <li>住宅部分は日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級4を確保</li> </ul>	0
<b>Q1 室内環境</b> F で、VOC放出量の少ない建材を全面的に使用	<b>Q2 サービス性能</b> 劣化対策等級3
<b>LR1 エネルギー</b> 日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級4を確保 太陽光発電を利用している 照明設備・自動点滅、タイムスケジュール、蛍光灯使用	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ハロン消化剤を使用していない 住居部分はスケルトンインフィル
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 奇抜なデザインを避けている 敷地周辺には見通しの良いフェスを設けている。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内を積極的に緑化している CEC値の低い照明設備を利用している

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたし